

換気扇用風量コントローラー



FY-SCS05 本体希望 小売価格 **20,600**円(税抜)

●単相100Vタイプの有圧換気扇の風量を70%~100%の間でコントロールします。

- コントローラー本体は必ずタテにして設置してください。
- 位相制御のためモーター音が出ることがあります。

■適用機種一覧表

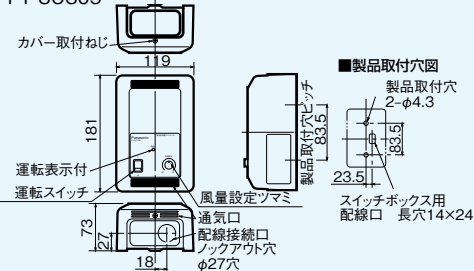
適用機種(有圧換気扇)	制御台数
FY-20GSU3・FY-20GSUD	7台
FY-25GSU3・FY-25GSUD	4台

■特性表

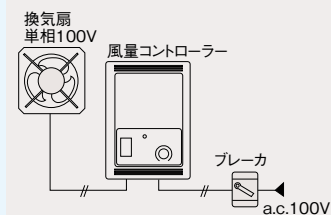
品番	定格電圧	消費電力	制御容量	出力電圧範囲	使用温度範囲
FY-SCS05	単相100V 50/60Hz	約2W	4A(定格電流) 10A(起動電流)	約70%~ 95%以上	-10℃~ +50℃

■外形寸法図(単位:mm)

FY-SCS05



■接続方法



詳しくは工事説明書をご覧ください。

風量コントローラー FY-SCS05	内容	風量コントローラーに接続する換気扇にシャッターを取り付けるとき <制御例>
風量コントローラーで風量調整する換気扇にシャッターを取り付ける場合、電気式シャッターを下部右側の配線の様に接続してください。下部左側の様なシャッター取り付けはできません。		
〈誤り〉 〈正しい〉 ※詳しくは、工事説明書をご覧ください。		

風量コントローラー FY-SCS05	内容	風量コントローラーとのスイッチの複合制御 <制御例>
センサーによる運転/停止と風量調整された制御を同時に行ないたい時		
※詳しくは、工事説明書をご覧ください。		

接続機器容量の判定・確認の仕方

下記の手順を参考に接続機器の確認をおこなってください。

品 名		品 番	定格電圧	負荷容量	
				制御電流 A	起動電流 A
多機能 センサー スイッチ	温度・湿度 タイマー	FY-SDKS03	単相100V	3	5
センサー スイッチ	温 度	FY-ST030	単相100V	3.5	8
		FY-ST032		3.5	8
		FY-STS06		6	10
		FY-STS10		10	20
		FY-STT10	三相200V	10	15
	湿 度	FY-SH020		2	5
FY-SH032		3.5		8	
タイマー	常時換気用	終 FY-THKS01V	単相100V	1	3
	換気扇タイマー	終 FY-TDKS02S		2	3
	一時OFFタイマー	終 FY-TFKS02		2	5
送風機用 インバータ	三相 200V出力	FY-S1N02T2	接続可能機器は I-40～I-47ページ		
		FY-S1N04T2			
		FY-S1N08T2			
		FY-S1N15T2			
		FY-S1N22T2			
		FY-S1N37T2			
	単相 100V出力	FY-S1N55T2			
		FY-S1N02S2			
		FY-S1N04S2			
		FY-S1N08S2			
リレー ユニット	並列運転用	FY-RBS05	単相100V	5	10
	大容量用	FY-RUS10		10	20
			FY-RUT10	三相200V	10
風量コントローラー		FY-SCS05	接続可能機器は I-38ページ		

※ 2026年3月末生産終了予定品

1. 接続をしたい機器の定格をカタログより確認する。

①電流表示ではなく、消費電力表示の機種の場合、下記の計算でおおよその電流値を算出してください。

【単相100V電圧時】

$$\frac{\text{消費電力(W)}}{\text{定格電圧(V)} \times 0.7} = \text{電流(A)}$$

<0.7は力率相当値です。>

- ②電流値は「強／弱」切換えのある機種は「強」の電流を採用願います。
 ③使用する静圧等で電流値が定格値より多くなる場合は定格電流より20%程度の多めの電流とし、余裕をもうけてください。
 ④複数機種の接続を考える場合は、合計電流、合計起動電流で判断してください。

	定格電圧:V	電流:A	起動電流:A
例	100	1.7	3.5

2. カタログ電流値に対し負荷変動等を想定し、1.1倍する。 (送風機用インバータは1.15倍)

	定格電圧:V	電流:A	起動電流:A
例	100	1.7×1.1倍 ≒1.9A	3.5×1.1倍 ≒3.9A

3. 制御スイッチの定格電圧、負荷容量と比較する。

左表より
温度スイッチFY-ST030の場合

	定格電圧:V	負荷容量	
		電流:A	起動電流:A
例	100	3.5	8

4. 制御スイッチ側の負荷容量(制御電流、起動電流のいずれも)が大きければ接続可能。

※起動電流表記のない機種の判定時、電流比較のみで実施する。

■複数台運転可能台数の算出方法

上記説明の

『1. 接続をしたい機器の定格をカタログより確認する』

『2. カタログ電流値に対して負荷変動等を想定し、1.1倍する』

の作業で接続する複数台の機器の合計を算出する。

その後『3. 制御スイッチの定格電圧、負荷容量と比較する』をおこなってください。